



株式会社 昭和真空

第59期 報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

One vanguard of the digital revolution

「光と電波」情報通信・デジタル家電を支える昭和真空



証券コード：6384



トップメッセージ

減収減益となりましたが、受注高は増加し、次期につなげることができました。

メンテナンス性の改善や品質向上などに取り組み、製品開発への対応など事業の拡大も図りました。

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、米国では新政権発足に伴う政策の不確実性が増大しましたが、雇用・所得環境の改善により着実な回復が続きました。欧州では英国のEU離脱問題により懸念された影響が限定的であり、中国では生産設備の高度化・自動化の進展により需要は堅調に推移するなど、総じて緩やかに拡大しました。国内経済については、企業収益の改善やアジアを中心とした海外からの需要に支えられ、景気全般を見ると緩やかな回復基調が継続しました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、スマートフォン・車載関連の電子部品需要が堅調に推移し、当社グループの主要な取引先である光学・電子デバイス業界を下支えしました。デバイスメーカー各社の増産設備投資にも持ち直しの動きが見られ回復傾向となりました。また、各社の次世代製品に向けた開発意欲は継続され、当社グループに対するサンプル成膜の依頼等は引き続き活発に推移しました。

代表取締役
執行役員社長

小俣 邦正
Kunimasa Omata



こうした環境の中、当社グループでは好調な市場を捉え、既存分野への深掘りによる拡販を推進するとともに、既存技術応用分野や新規市場の開拓に注力しました。ユーザーからの意見等をふまえた機種ごとのメンテナンス性の改善や社内検査の強化による品質向上やコストダウン推進にも継続して取り組みました。また、次世代製品に向けたデバイスメーカーからの依頼実験や製品開発にも積極的に対応することで事業の拡大を図ってまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、受注高110億11百万円(前期比10.1%増)、売上高86億40百万円(同14.4%減)となりました。

損益につきましては、経常利益8億98百万円(前期比21.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益7億10百万円(同39.9%減)となりました。



IoT (Internet of Things) 時代の到来を見据え、新しい成膜ソフトやそれらを内在した真空装置の技術革新に取り組み、成長を図ります。

今後の見通しにつきましては、海外経済の不確実性や新興国等の経済の先行きへの不安感、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要がありますが、国内外ともに緩やかな回復が続くことが期待されています。

当社グループを取り巻く事業環境を見ると、引き続きスマートフォン、車載関連市場が電子デバイスメーカを牽引するものと予想しています。また、電子部品メーカでは、IoT (Internet of Things) 時代の到来を見据え、次世代製品への取り組みを加速させるものと考えています。

当社グループといたしましても、新しい成膜ソフトやそれらを内在した真空装置の技術革新に積極的に取り組んで、さらなる成長のために市場への展開を図ってまいります。また、既存技術応用分野の開拓の継続や製品基本性能の信頼性向上とアフターサービスの充実を図ることとあわせて、業績安定企業への基盤づくりに努めてまいります。

期末配当金は、1株当たり40円とさせていただきます。

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しております。業績の伸長度に応じた安定的な経営基盤の確保及び財務体質の健全性の維持を勘案しつつ、安定した利益還元を継続的に実施していくことを基本方針としております。

内部留保につきましては、経営環境の変化に対応すべく、コスト競争力を高め、生産設備並びに技術開発体制の強化に備えるとともに、今後の事業展開に向け、有効に活用していく所存です。

当期(平成29年3月期)の期末配当金につきましては、1株当たり40円とさせていただきます。次期の配当につきましても、上記基本方針に従い継続的に実施可能な環境づくりに努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

トピックス

光学薄膜形成装置を開発しました

当社は、光学デバイス向けの薄膜形成装置を重要な事業の柱として位置づけており、特にレンズへの反射防止膜形成装置は当社の主力製品となっています。

カメラモジュールは複数枚のレンズで構成されており、そのレンズは樹脂レンズが主流となっています。カメラモジュールはスマートフォンや自動車をはじめさまざまな製品に搭載されており、今後もレンズ生産は増加が見込まれます。光学デバイスメーカは生産工程の自動化の進展、省スペース化、省電力化による総合的な生産性の向上やコスト削減に取り組む必要に迫られるとともに、複雑形状レンズの登場により、付き回りの良い薄膜形成が課題として浮き彫りになりました。

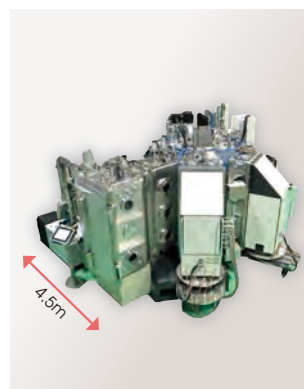
そこで当社では、複雑形状レンズに対応する装置としてALD(Atomic Layer Deposition)の手法を用いた「Genesis-AR Series」を、高い生産性を実現する装置として光学薄膜スパッタリング装置「AXIS Series」

を開発しました。

当社は本製品が使用されることにより、光学デバイスメーカの歩留まり改善、生産性及び品質の向上、さらには次世代光学デバイスの開発等に貢献できるものと考えております。



Genesis-AR Series



AXIS Series



先行きが不透明な世の中ですが、エレクトロニクス社会は着実な進化と広がりを見せています。
特に、IoT(Internet of Things)、ビッグデータ、ロボット、人工知能(AI)等の
技術革新のスピードとインパクトは目覚ましく、ありとあらゆるモノがインターネットとつながり、
新しい価値を生み出すことで人々の生活が劇的に変化する
スマート社会の到来は目前に迫っています。



あらゆるモノ・コトがデジタル化して、 インターネットでつながる世界へ

クルマは、ドライバー、道路そしてクルマ同士でつながるようになり、近い将来には自動化されることでしょう。スマートフォンは、通信速度がさらに高速に、容量は大きくなり、通信サービスにも広がりを見せ、高機能化、多機能化が進みます。またIoT社会では、スマートフォンがコントローラーとしての役割も担うようになり、その存在価値がますます大きくなります。

その他にもエネルギー、医療、農業など、異なる産業をつなぐデジタル化やIoT化が進展することによって、エレクトロニクスの領域は広がり、スマート社会への新たなニーズが生まれています。

あらゆるモノがインターネットとつながるIoT社会では、センサー、カメラ、通信技術などのニーズが高まります。センサーやカメラによりモノから情報を取得し、通信技術によって新たな情報としてモノや人にフィードバックする技術はIoT社会を支えるキーテクノロジーです。これらのキーテクノロジーを、昭和真空グループの技術や装置が広くカバーしています。

スマート社会へ向けた大きな変化は、昭和真空グループの強みを発揮し、成長するチャンスにあふれています。技術力と顧客に寄り添う柔軟な対応をベースに、新たな価値を生み出す技術・製品を提供することを通じて、世の中のお役に立つ企業であり続けます。

変化をチャンスと捉え、さらなる成長に向けて昭和真空グループは挑戦を続けてまいります。



昭和真空とは…



「光と電波」

情報通信・デジタル家電を支える
社会と産業に力強く貢献しています。

キーテクノロジーは 「真空技術」

真空技術はスマートフォンやデジタルカメラなど、さまざまなハイテク最終商品を作るうえで必要不可欠ですが、真空技術で最終商品を直接製造しているわけではありません。例えばスマートフォンには根幹部品として温度補償水晶発振器(TCXO)が組み込まれていますが、その水晶発振器を作る工程で真空技術応用装置が使用されているのです。他にもカメラのレンズ、さまざまな光学フィルタ、液晶表示パネルなどを製造する際にも真空技術応用装置が使用されています。

こんな製品の製造に活躍します。

スマートフォン

カメラモジュール

- 反射防止膜
- ジャイロセンサー
手ぶれを補正

タッチパネル

- 反射防止膜
光の反射や映り込みを防ぐ
- 透明導電膜
透明で電気を通す薄膜
- 水晶振動子

無線通信モジュール

- SAWフィルタ
飛び交っている電波の中から
使いたい周波数だけを通す
- TCXO(温度補償水晶発振器)
- 温度補償回路により、温度による
周波数変化を少なくする
- 無線回路やGPS回路に使われる

クロックモジュール

- 音叉振動子
主に時計用の周波数を
カバール

GPS(位置検出)

- TCXO

ベースバンド部

- 水晶振動子
音声をデジタル
信号に変換

製品外装

- 装飾ミラー膜
- 電磁シールド膜
電磁波を遮蔽

HMD

プロジェクター

- 光学フィルタ
- 反射防止膜

カメラ・深度センサー

- 反射防止膜

LED

スクリーン

- 反射防止膜
- ミラー など

赤外線センサー

- 製品外装
- 装飾膜
- 電磁シールド膜

無線通信モジュール

- SAWフィルタ
- TCXO

接眼レンズ

- 反射防止膜

水晶デバイス

- ジャイロセンサー
- 音叉振動子
- AT振動子
基本動作をコントロール

自動車

安全・セキュリティ系

- キーレスエントリー
水晶振動子、SAW共振子、
SAWフィルタ
- ABS
音叉振動子、
圧力センサー
- エアバッグ
ジャイロセンサー

内装・外装系

- ドアミラー(親水膜)
- ルームミラー(防眩ミラー)
- エンブレム、ヘッドライトなど

情報通信系

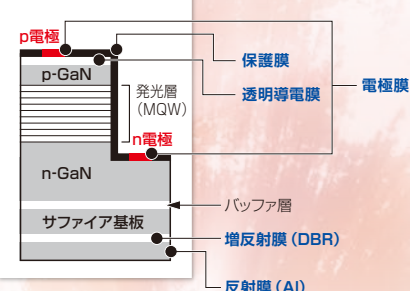
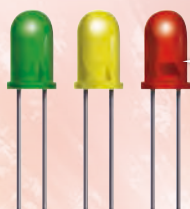
- マイコン
水晶振動子、SPXO(水晶発振器)
- GPSナビゲーション、無線回路
TCXO
- TVチューナー
VCXO(電圧制御水晶発振器)
- ETC
タイミングデバイス

運転支援等

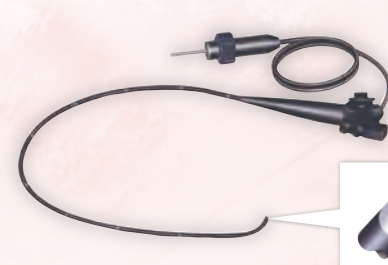
- バック(フロント・サイド)モニター
カメラモジュールレンズに反射防止膜

LED

LEDチップ断面構造図



内視鏡



レンズ

- 保護膜
汚れやキズから守る
- 反射防止膜

色分離フィルタ

- 3原色分解能フィルタ

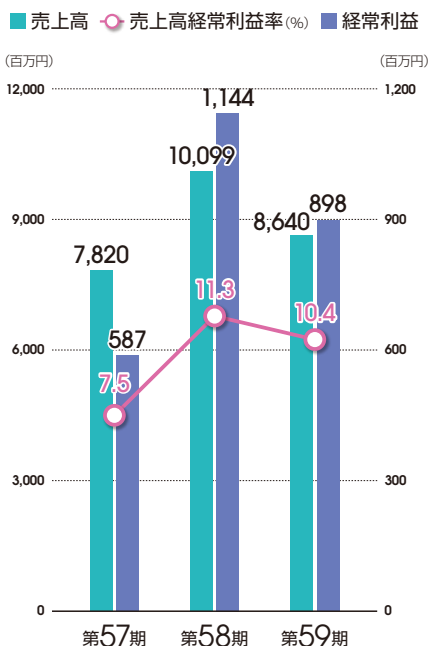
色分離プリズム

- 3原色分解能ミラー

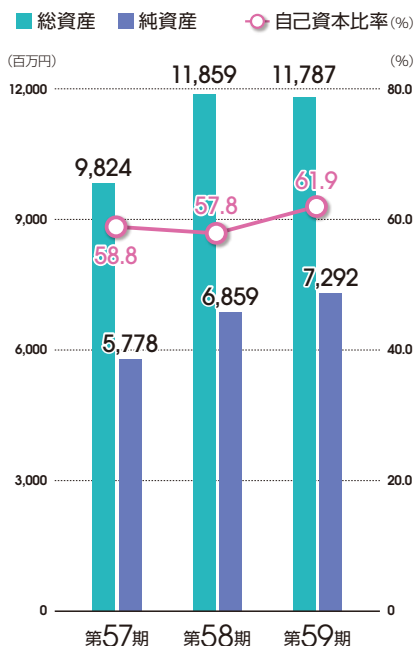


コストダウン推進に継続して取り組みましたが、利益率はわずかに低下しました。

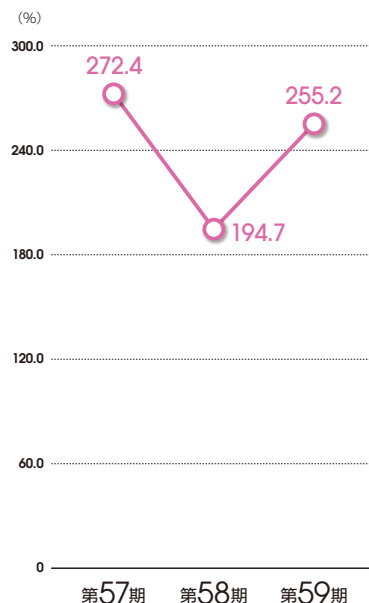
売上高・経常利益・売上高経常利益率



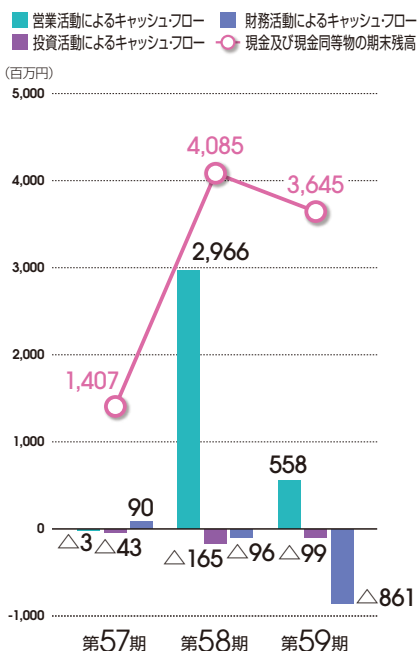
総資産・純資産・自己資本比率



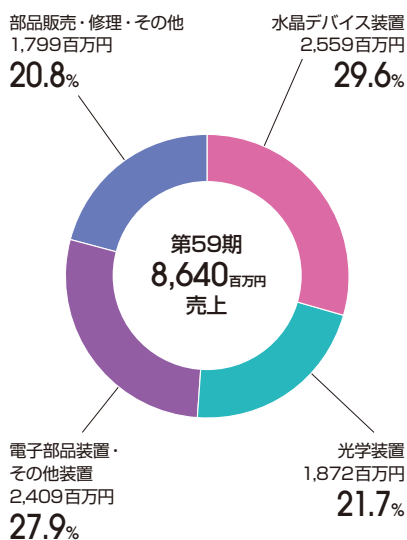
流動比率



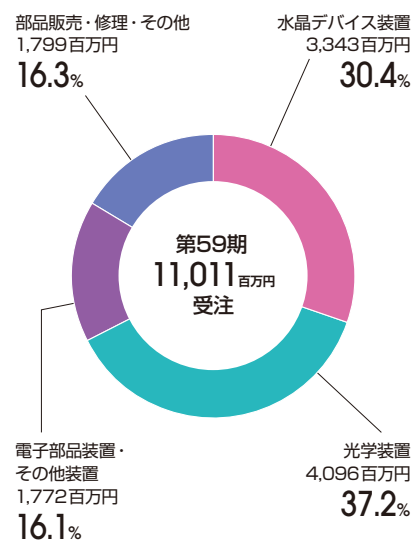
キャッシュ・フロー



品目別売上高構成比



品目別受注高構成比



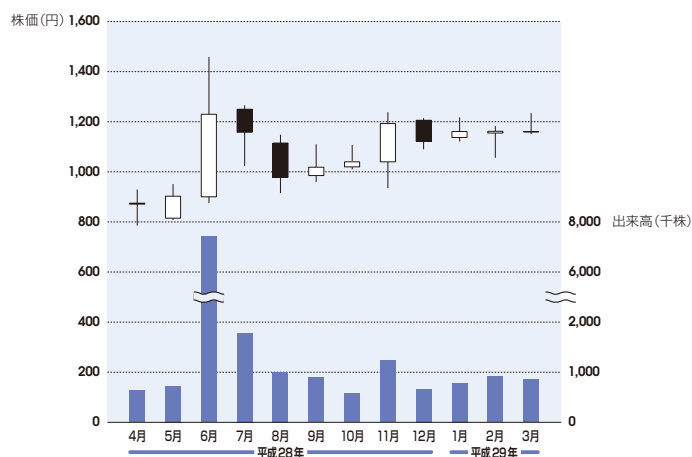


◆株式の状況

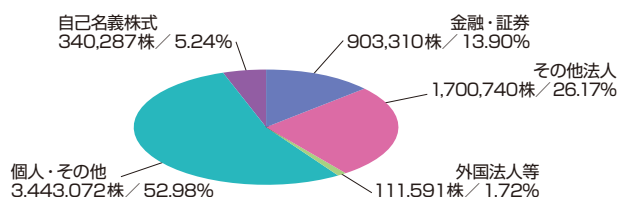
発行可能株式総数 13,800,000株
発行済株式の総数 6,499,000株
株主数 3,772名

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社アルバック	1,329,500	21.59
小俣邦正	567,600	9.21
有限会社小俣興産	341,440	5.54
株式会社昭和真空	340,287	—
昭和真空従業員持株会	209,852	3.40
小俣佳子	160,000	2.59
株式会社三菱東京UFJ銀行	145,000	2.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	140,200	2.27
日本生命保険相互会社	115,200	1.87
株式会社みずほ銀行	96,000	1.55

◆株価及び売買高の推移(月次)



◆所有者別株式状況(株式数)



◆株主メモ

株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同送付先・連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社 全国本支店

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日

基準日 3月31日
その他必要がある時は、取締役会の決議をもって予め
公告いたします。

配当金受領株主確定日 3月31日及び中間配当金の支払を行う時は9月30日

公告掲載方法 電子公告により行う。やむを得ない事由により電子公告
によることができない場合は日本経済新聞に掲載する。
URL <http://www.showashinku.co.jp/>

◆会社の概要

商号 株式会社昭和真空
設立 1958年(昭和33年)
資本金 2,177,105,200円
従業員数 184名
営業種目 水晶デバイス用、光学薄膜用、電子デバイス用などの
総合的な真空関連装置並びに真空機器等
真空蒸着装置、スパッタリング装置、イオンプレーティ
ング装置、ドライエッチング・アッシング装置、真空冶
金(溶解、熱処理、焼結、脱ガス)装置、光学薄膜用モ
ニター(多色式、単色式)、IAD冷陰極イオンソース、
液晶注入装置、その他

取引金融機関 三菱東京UFJ銀行、横浜銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、
八千代銀行、山梨中央銀行、城南信用金庫

◆事業所

本社・相模原工場
〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3062番地10
TEL. 042-764-0321/FAX. 042-764-0329

大野台パークセンター
〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台二丁目27番2号

◆役員(平成29年6月23日現在)

代表取締役	小俣 邦正	社外取締役	末代 政輔
執行役員社長	市川 正	常勤監査役	村木 由之亮
取締役執行役員常務	高橋 理	社外監査役	千葉 審一
取締役執行役員	久島 博美	社外監査役	高橋 誠一
取締役執行役員	田中 彰一		

◆グループ会社及び関係会社

〔グループ会社〕

- 昭和真空機械(上海)有限公司
 - 所在 中国上海市
 - 主な事業内容 当社装置の生産
- 昭和真空機械貿易(上海)有限公司
 - 所在 中国上海市
 - 主な事業内容 当社装置・部品の販売、サービス・メンテナンス
- 株式会社エフ・イー・シー
 - 所在 埼玉県狭山市
 - 主な事業内容 マグトラン(歯のない歯車)の製造・販売

〔関係会社〕

- Sansei-Showa Co., Ltd. USA
- 所在 米国オハイオ州

◆IRカレンダー 第60期(平成29年4月~平成30年3月)

5月 第59期 決算発表	11月 第60期 第2四半期決算発表
6月 第59回 定時株主総会 経営報告会 有価証券報告書提出	2月 第60期 第3四半期決算発表
8月 第60期 第1四半期決算発表	3月 31日 第60期 決算日

＜ ホームページのご紹介 ＞

トップページ

<http://www.showashinku.co.jp/>

ホームページでさまざまな情報をご覧いただけます。

「株主・投資家の皆様へ」トップページ

<http://www.showashinku.co.jp/ir/>

株主の皆様には有益なIR情報はこちらをご覧ください。

